

"Tones Shapes & Colors"

Hakuei Kim 池長一美
Piano Drums

2022 09月28日(水)
開場 19:30
開演 20:00
(2ステージ入替なし)(1drink=600~)
MC=3300+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



Hakuei Kim

1975年京都市に生まれ札幌市で育つ。韓日クォーター。5歳からピアノを始める。オーストラリア、シドニー大学音楽院(ジャズ科ピアノ専攻)卒業。2005年 DIWより「Open the Green Door」でインディーズ・デビュー。その後、同レーベルより3枚のアルバムをリリース。2009年ピアノ・トリオ「Trisonique/トライソニック」を杉本智和(b)、大槻KALTA” 英宣(ds)と結成。2010年 渡辺貞夫の『Sadao with Young Lions』のツアーに参加。2011年 ユニバーサルミュージックよりアルバム『Trisonique』でメジャー・デビュー。2012年 ソロ・ピアノ・アルバム『Break the Ice』、DVD『Solo Concerts』リリース。2013年アルバム『A Borderless Hour』リリース。2015年 韓国伝統音楽ユニットの新韓楽とトライソニックとのコラボレーション・アルバム『HANA』をリリース。2018年 約6年振りとなるソロ・ピアノ・アルバム『Resonance』をリリース。2019年 フランスを代表するパーカッション奏者、グザヴィエ・デザンドル・ナヴァルとのパリ公演を収めた最新作『Conversations in Paris』を発表。これまでに、札幌シティ・ジャズ・フェスティバル、香港インターナショナル・ジャズ・フェスティバル、韓国・光州ワールド・ミュージック・フェスティバル等に出演。2016年にはトライソニックで米国デトロイト・インターナショナル・ジャズ・フェスティバルに出演。現地オーディエンスやメディアから高評価を受ける。2018年には初のヨーロッパツアーを敢行し、フランス、イタリア、ドイツでの公演を成功させた。その他の活動としては、TV東京全国ネット『美の巨人たち』のエンディング・テーマや日韓合作映画『道〜白磁の人〜』(高橋伴明監督作品)のエンディング・テーマの作曲、TV朝日系列全国ネット『越路吹雪物語』で大地真央が歌う主題歌の編曲、クリスタル・ケイ、新妻聖子、綾戸智恵、平賀マリカ、平方元基、川島ケイジ(敬称略)等のレコーディングや編曲、コンサートでの音楽監督等がある。現在、国内外を問わず活動中。



池長一美

ドラマー、京都市出身。1986年鈴木勲、金井英人他のグループでデビュー。1989年パークリー音楽大学の奨学生として渡米。1991年合衆国政府より滞在芸術家としてアイオワ州ルーサー大学のジャズ科講師に迎えられ、ユニファイ・ジャズ・アンサンブルの一員として米国各地で演奏活動。1995年より日本を拠点に国内外で活動。ボストンのピアニスト パート・シーガーとCD5作品(1994-2011)、スウェーデンのピアニスト マグナス・ヨルトとCD2作品(2008-2010)、デンマークのテナーサクソ クリスチャン・ヴェストとリーダーアルバム“Niwatazumi”(2016)をリリースする。参加CDは40作品を超える。主な共演者: ジョージ・ガゾン、クリス・チーク、カート・ローゼンウインゲル、マット・ギャリソン、ヤコブ・ブキャナン、ヤコブ・ディネセン、ソレン・ダール・ヤッペセンなど。国内では中牟礼貞則、宮野裕司、山口真文、石井彰、ハクエイ・キム、中川昌三、西山隆と定期的に活動する。2019年小林洋子とのThe Third TribeでCD“Nearly Dusk”をリリース、2020年5月浅川太平との“NordNote 1st”をリリースする。